

第1回 湖西市立小中学校統合準備委員会 議事録

<日 時> 令和7年7月9日（水）15時00分～16時45分

<場 所> 北部多目的センター 2階・多目的ホール

<参 加 者> 37名

委 員 18名（学識経験者2名、保護者代表8名、地域代表3名、校長3名）
事務局6名（市長、教育長、教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名）
傍聴者13名

<会議内容>

- ・市長挨拶、委嘱状伝達、教育長挨拶の後、委員長及び副委員長を選出した。
- ・委員長挨拶の後、協議事項について事務局への質問や意見交換を行った。

1 「これまでの経緯」「小中学校統合に向けた検討事項」について

事務局から学校再編基本計画（北部地区）策定の経緯、統合までのスケジュール、統合に向けた検討事項などを説明。

【委員より】

知波田小学校は百何十年続いている学校である。地域からは「なんで知波田小学校を廃校にするんだ」という意見はあるが、これから大きくなっていく子どもたちのためを考えれば、やはり今まで通りではなくてもう一步次の段階に進むことが大事じゃないかな、と私自身は考えている。反対意見ではなくて、どうしたらいいのかという発展的な意見をもらうような会を作り、跡地活用など地区の意見も市に提出させてもらいたい。

【委員より】

新所小学校と入出小学校が合併して東小学校になったときは、晴天の霹靂だったというようなことも伺っている。そういう点で住民への説明というのは非常に重要なことではないかと思っている。また、以前の統合した際、新所地域内でのつながりが少し薄くなったような気がする。東小と知波田小が統合した場合に、その辺も考慮に入れていろいろ検討をしていただきたい。

【委員より】

統合により一番心配な点は通学手段である。スクールバスを出してくれると思うが、台風による休校の場合の対応やバス停の場所はどうなるのか。バス停に行くまでに危険な場所がないかも心配である。通学だけは危険が伴わないようにしていただきたい。

【委員より】

保護者としては通学が気になる。小学1年生の小さい子の通学距離が伸びたときに事故がないように気にしている。

【委員より】

今一番気になることは、通学手段、体操服についてである。距離的には自転車通学になると思うが、結構距離があるから、スクールバスが出てくれるならそのほうがありがたいなとは思っている。

【委員より】

子どもたちは割と順応できるすごい力があると思うので、安心して成長していけるように大人がしっかり考えていけたらいいなと思っている。

【委員より】

引佐、気賀、三ヶ日の統合により浜松湖北高校ができた際、制服や体操服についても、基本的には引佐、気賀、三ヶ日が使っているものを使えばいいよということであった。引佐、気賀、三ヶ日の統合の際、このような会をそれぞれの高校で開催していた。それぞれの学校の様子も見ることができるので、次回は湖西中や東小、知波田小で開催してはどうか。天浜線の利用の検討も必要だと思う。新しい小学校前駅の設置や、アスモ前駅から岡崎中学校まで徒歩何分となれば、横山から自転車で通うよりはよいのではないか。

【委員より】

学校で統合の話を子どもたちにしたとき、中学 3 年のときに岡中に行くようになるが、受験もあるし心配だなという声があった。受験で一番大変なときに、中学 3 年になるというところでナーバスになっているかなと思う。

【委員より】

季節によっては通学の途中に街灯が少なかったりすると冬は早く暗くなるので、そういった意味でも心配はしている。制服や体操服についても切り替えなどが気になる。

【委員より】

湖西中学校の場合、制服が喫緊の課題である。11 月頃に小学校の 6 年生には制服等のチラシを配るため、その前までにはある程度方向性を決めていなければいけない。部活についても今の 6 年生には、方針を言わなければいけない。例えば「この部は残りますよ、岡中に入ったらこうなりますよ」など、そういう検討もしていけないといけない。今の 6 年生の保護者の方が聞くことが大事だと思うので、ある程度、方針などを説明していただきたい。

【委員より】

合併したときに地域とのつながりというのは本当に大事なことだと思う。例えば小学校が一つになると、そこには知波田小の地区とそれから東小の地区があって、どちらの地区もやっぱり大切につながりを持っていくという必要があると思うので、地域を大切にするということを検討していけないといけない。中学校についてはさらに広い範囲にはなるが、その広い範囲での地域を見据えた教育活動を推進していかなければならない。

【委員より】

中学校の統合については、令和 8 年度に湖西中学に入ってくる 1 年生は 3 年生になると岡崎中学校に通う。3 年間使う補助教材もあるため、統合前の段階から教科の主任同士で決めていかなければならない。また、統合した時の学校徴収金、旅行積立、修学旅行の費用、卒業アルバムなどの検討も必要。湖西中にも岡崎中にも生徒会長や専門委員長がいる。細々としたこともどうしていくかというのを考えていかなければいけない。

【委員より】

先日のシーカヤック体験で 6 年生が書いた感想を紹介させていただく。「知波田小にいる知り合いの人だけでなく、たくさんの知波田小の人と遊んだり話したりして、来年度の湖西中が楽しみになった。また、アサリやハマグリを見つけた人もいて、浜名湖の豊かさがよりわかった」「ペアの誰々さんと協力してシーカヤックができてよかった。浜名湖や山などに囲まれて自然の豊かさを感じられた。私たちの街をもっとよく知ることができる体験ができてとても楽しかった。」「シーカヤックはやったことがあったけれど、二人でやるのは初めての経験だったので楽しかった。浜名湖でシーカヤック体験ができることや、知波田小という他の学校と交流できるのが湖西市の良さだと感じた。」「シーカヤックに乗って声を掛け合って息を合わせることの大切さを知った。知波田小の人とも交流して仲良くなれた。地域同士での交流はとても良いと思った。またこれからも浜名湖のことを大切にしていきたいと感じた」というように全員ではないが、自然の良さとか地域がつながることなど、それぞれの地域を忘れてしまうのではなくて、それぞれのことが合わさってより地域が広がっていくということを、実は教員以上に子どもたちが肌で感じてこういう感想を持ったということがとても嬉しかった。そういう気持ちでこれから準備委員会の中で校名とか校歌とか校章とか交流事業というところを考えていきたい。

<質問①>

教育委員会において現時点で検討していることは。

<回答①>

通学路については、バスやタクシー、天浜線の利用など、様々な可能性を模索しているところである。静岡県内にもスクールバスや公共交通機関を使っている学校があるので、視察に行つて調査をしたい。また、学用品、制服については、湖西中学校の制服をそのまま使うことができるのか、何年ぐらい猶予期間を持たせてもらえるのかというお話もいただいているので、できる限り要望にお答えできるようなもので、提案をしていきたいと思っている。通学面、学用品についても事務局案として準備委員会で提示をした中でご意見だとか、お考えを伺いたい。

2 検討事項「校名について」について

事務局から校名の募集や選定方法などについて説明。

- ・ 募集期間 令和7年8月1日（金）～8月31日（日）
- ・ 応募資格 湖西中学校区内に在住する方
- ・ 応募内容等 一人一点とし、応募は1回限りで次のいずれかの方法

※応募用紙は各戸に1枚配布

(1) 応募用紙による応募

応募箱を北部多目的センター、はつらつセンター、学校教育課に設置

(2) ウェブによる応募

- ・ 選考基準

2つの小学校の再編による一体感や協調、融和を想起させる名称とする

※「現小学校の名称」「市外を含め該当学校以外の学校を想起させる名称」

「人名などの名詞、呼称を使用した名称」は候補から除外

- ・ 選定方法

統合準備委員会で協議し、絞り込んだ校名案について「東小学校区、知波田小学校区の在住者」で投票し、投票結果を参考に統合準備委員会で校名候補を選定する。（東小、知波田小の児童は校内で投票してもらう予定）

【委員より】

回収袋を回覧板に添えて入れてもらうという方が集めやすいのではないかと。

【委員より】

地区の会合が9月上旬にあるので、そこで回収する方法もある。二次元コードもいいが、高齢者はなかなかそれを使わない。一人でも多くの意見を募集するのであれば、そういうふうにしてもらった方が意見はたくさん出ると思われる。

【委員より】

自治会等で集めるということになると、半強制的になるのではないかと。個人の自由な意思でということなので、そうすると自治会として集めることが必要かどうか。

【事務局より】

地区によってそれぞれ回収方法などが異なるかもしれないので、また検討させていただく。

【委員より】

子どもたちに関わってくることなので、子どもたちが主になって決めていけたらよいと思う。

<質問②>

校名の募集について、子どもたちについては、学校を通して集めていただく、ということか。

<回答②>

応募については、小学生も中学生も含めてこの回覧板により配付する応募用紙又は二次元コードからお答えをいただきたいと考えている。

<質問③>

応募があった校名をこの統合準備委員会で絞り込むということだが、いくつに絞るのかということは決まっているのか

<回答③>

絞り込む数については決まっていない。いくつかに絞り込んだものを投票という形で地域住民の方に選んでもらう。その時は小学生のお子さんは別に投票してもらう予定である。

<質問④>

応募者の名前を書くようになっているが、校名が決まったらその人の氏名は発表するのか。公表されたら嫌だという方もいると思う。

<回答④>

氏名を公表することはない。一人一回の応募としているため、確認のために氏名を書いてもらうということとしている。

<質問⑤>

子どもの発想が非常に豊かだというような話もあった。募集期間が夏休み期間中であるため、学校からお知らせができないと思うが、何か方法はあるか。

<回答⑤>

学校から連絡アプリにより周知することは可能であると思う。

<質問⑥>

各戸に1枚配布だと、小学校の子どもたちも書いてください、親も書いてくださいとなると2枚必要である。ほかの家族もとなると3枚以上用意しなければならない。応募用紙1枚に書くところを3つでも、4つでも作れば、1枚で何人でも出せるのではないか。

<回答⑥>

委員からのご意見を参考にさせていただき、事務局で検討する。

【事務局より】

校名の募集については、委員のご意見を参考に事務局で検討させていただく。決まったものについては各委員にご案内させていただく。